

製品仕様

ウロダイアリーチェッカー

型名	UDC01
医療機器分類	一般医療機器 特定保守管理医療機器
届出番号	26B2X10037000003
一般的名称	再使用可能な尿流量計
計測方式	歪みゲージ式ロードセルによる質量計測
計測精度	1,000mL未満 ±5mL以内 1,000mL以上 ±5%以内
計測範囲	0～1,000mL
最小表示	1mL
インターフェース	Bluetooth V4.2 オプション用接続ポート
定格電源	AC100V 50/60Hz 6VA (専用ACアダプター使用時) 単3アルカリ乾電池(DC3V) 使用可能
外形寸法	W155mm H68mm D109mm
本体質量	約620g
使用条件	使用温度: +5°C～+40°C 使用湿度: 10%～85%RH (結露なきこと)
保管条件	保管温度: -5°C～+50°C 保管湿度: 10%～95%RH (結露なきこと)
電撃に対する保護の形式による分類	クラスII機器 (AC 電源接続時) 内部電源機器 (AC 電源不接続時)
電撃に対する保護の程度	BF 形装着部
保護等級	IPX5
保存データ数	300件
容器登録機能	容器数: 患者あたり3容器 (採尿カップ/尿取りパッド/そのほか) 登録数: 20人
違和感あり機能	排尿時の「違和感」を記録 (排尿困難、残尿感、尿意切迫、尿漏れなど)

※在宅での持ち帰りを想定した専用ケースも準備しています。

専用バーコードリーダー(オプション)

型名	UDB01
インターフェース	ウロダイアリーチェッカーへの専用接続ジャック
電源	DC5V ウロダイアリーチェッカー本体からの給電
外形寸法	W117mm H98mm D92mm
本体質量	約230g
使用条件	使用温度: +5°C～+40°C 使用湿度: 10%～85%RH (結露なきこと)
保管条件	保管温度: -5°C～+50°C 保管湿度: 10%～85%RH (結露なきこと)
電撃に対する保護の形式による分類	クラスII機器
電撃に対する保護の程度	BF 形装着部
保護等級	IP24
対応コード	JANコード 準拠/短縮 ITFコード CODE39 NW-7 QRコード

ウロダイアリー
(院内の既設PCへの相乗りを想定しています)

動作環境	対応OS: Windows10 推奨CPU: 1.8GHz以上 推奨メモリ: 2GB以上 推奨ディスク容量: 1GB以上 通信接続: Bluetoothが使用できること
機能	排尿日誌の作成 (1日の尿回数、各回の排尿量、集計時間毎の排尿量、1日の総量、夜間尿量割合、夜間排尿回数、最終排尿時間) 1週間の排尿状況をグラフで表示 帳票の印刷



排尿日誌の自動作成でスマートな排尿管理

排尿日誌自動記録システム



※本カタログ記載の内容は2023年1月17日時点のものです。
※カタログに記載されている会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
※このカタログに記載されている商品写真は実物の色とは異なる場合がありますので予めご了承ください。
※このカタログに記載されている外観・仕様は改修のため予告なしに変更することがあります。



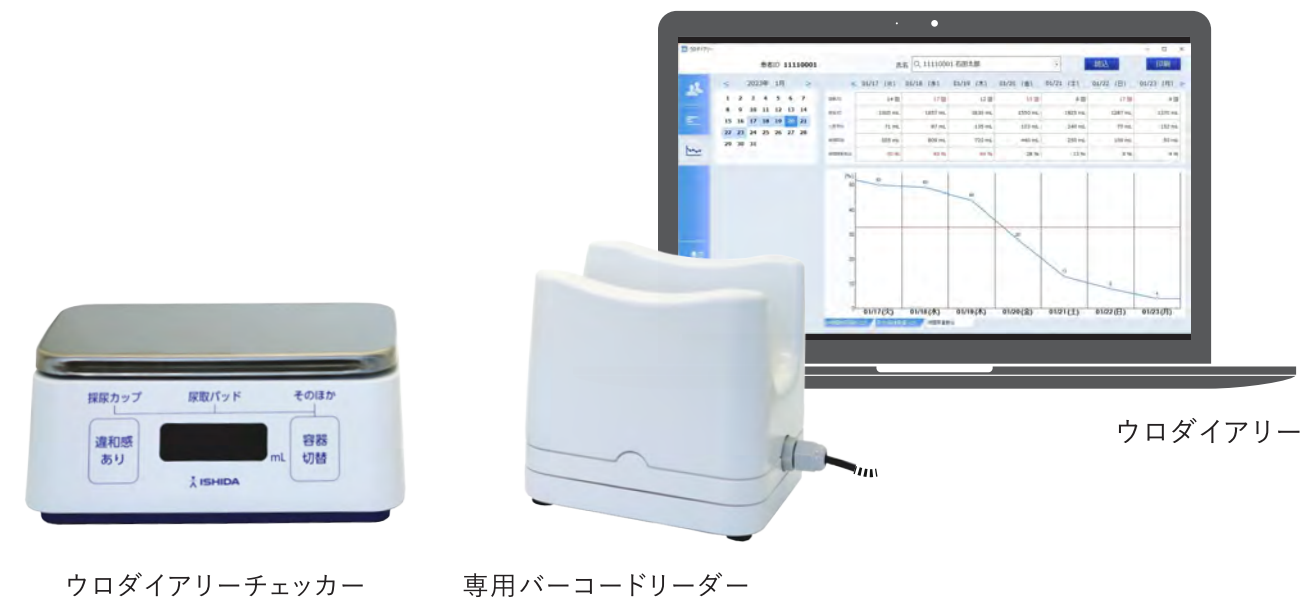
イシダメディカル株式会社

京都府京都市左京区聖観院西華藏町60-1 TEL.(075) 762-0330 FAX.(075) 762-0320 ●お問い合わせは

排尿計測のデジタルシフト

下部尿路機能障害のアセスメントに非常に重要な排尿日誌。しかし、尿量の見誤りや誤記入・未記入、書字困難、看護業務の多忙など、様々な要因から治療・ケアに利用するための情報が得られないことがあります。

本システムでは、容器等に採尿された排尿量を計測し排尿日誌を作成することで患者さんへの排尿自立支援に貢献します。



本システムは、医療従事者用のアプリ「ウロダイアリー」、排尿量計測デバイス「ウロダイアリーチェッカー」、患者IDを読み取りする「専用バーコードリーダー」で構成されます。

患者を
選ばない

採尿コップだけでなくおむつやパッドなどにも対応しており、様々な患者さんの尿測をすることができます。また、持ち運びできるコンパクト設計で、退院後の在宅での排尿管理にも使うことができます。



業務効率

従来の目視で確認し自記入していた排尿日誌の作成を自動化。計測結果を集計し、下部尿路機能障害のアセスメントに必要な情報を提示します。



清潔

洗浄可能な防水仕様で、清潔な尿測環境の構築に寄与します。尿は計測したその場でトイレへ廃棄でき、耐性菌や感染症の伝播リスクを軽減できます。



在宅でも排尿管理

排尿日誌は、夜間頻尿など下部尿路機能障害を持つ外来患者さんを診察する際にも使われています。従来は患者さんが在宅生活時に手書きで記入していましたが、ウロダイアリーチェッカーを活用することで日常の排尿状況をわかりやすく参照することができます。情報整理や問診に時間をかけずに治療方針を決めるためのデータが得られ、診療の効率化と正確化に寄与します。

診察

在宅

診察

機器を貸出

計測

排尿情報を提供



在宅生活時のリアルな情報を取得することができます

現状

「他の患者さん対応で
排尿計測できないときもある」

「きちんと記入が
できているか不安」

「手書きだと
分析が手間だなあ」



導入後

乗せるだけで
自動計測



専用ソフトでらくらく集計／帳票化



計測結果はBluetooth通信で抽出します。